

MFJ GP SUZUKA

2016 48th MFJ GRAND PRIX
SUPERBIKE RACE in SUZUKA





公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名 : 2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿
- 併 催 : 2016 鈴鹿・近畿選手権シリーズ第6戦 鈴鹿サンデーロードレース
- 開催レース : 文部科学大臣杯全日本選手権 JSB1000クラス
全日本選手権 ST600クラス
全日本選手権 J-GP2クラス
全日本選手権 J-GP3クラス
CBR250R Dream CUP
JP250 MFJカップ
- 日 程 : 2016年11月5日(土) 公式予選・決勝レース
6日(日) 決勝レース
- 主 催 : 株式会社モビリティランド
一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 公 認 : 国際モーターサイクリズム連盟(FIM)
- 後 援 : スポーツ庁/観光庁/三重県/鈴鹿市/
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会 場 : 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(2輪用:5.821km)

- 天 候・動 員 : 11月5日(土) 快晴 18.8℃ 10,500人
6日(日) 快晴 17.5℃ 15,000人
※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表
[前年実績]
10月31日(土) 晴れ 16.7℃ 9,000人
11月 1日(日) 曇り 15.3℃ 14,500人

【メディア概要】

- 取 材 者 数 : 54媒体 103名
- テレビON AIR : BS12 TwelV[RIDE&DRIVE]
11月12日(土)19:00~19:54
- 公 式 サ イ ト : 鈴鹿サーキット公式ウェブサイト
<http://www.suzukacircuit.jp/>
MFJスーパーバイク公式ファンサイト
<http://www.superbike.jp/>



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

JSB1000

[Race1]

8周で争われたRace1、ポールポジションスタートでホールショットを決めた中須賀克行をスポット参戦のレオン・ハスラムが追い上げ、この2台によるトップ争いが展開されましたが、7周目の日立オートモティブシステムズシケインでトップに立った中須賀がそのままチェッカー。5年連続7度目のタイトル獲得という偉業を達成しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YAMAHA YZF-R1	BS
2位	レオン・ハスラム	Team GREEN	KAWASAKI ZX-10R	BS
3位	渡辺 一樹	Team GREEN	KAWASAKI ZX-10R	BS



[Race2]

20周で争われたRace2は、オープニングラップのアクシデントで赤旗中断。仕切り直しとなったレースでは好スタートのハスラムを先頭に6台がトップ集団を形成しますが、徐々にハスラムと中須賀のマッチレースに。17周目に中須賀が2輪専用シケインでトップに立ち、ダブルウインを達成、チャンピオン獲得に華を添えました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YAMAHA YZF-R1	BS
2位	レオン・ハスラム	Team GREEN	KAWASAKI ZX-10R	BS
3位	高橋 巧	MuSASHI RT ハルク・プロ	Honda CBR1000RR	BS



ST600

ランキングトップの前田恵助がオープニングラップで転倒、波乱の幕開けとなったST600。デチャ・クライサーを先頭にチャランボン・ポラマイ、榎戸育寛、名越哲平らがトップ集団を形成しますが、レース終盤、榎戸が猛烈な追い上げをみせ、ファイナルラップでトップに立つと念願の初優勝を飾り、大逆転でチャンピオンに輝きました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	榎戸 育寛	MOTO BUM HONDA	Honda CBR600RR	BS
2位	デチャ・クライサー	Yamaha Thailand Racing Team	YAMAHA YZF-R6	BS
3位	名越 哲平	MuSASHi RT ハルク・プロ	Honda CBR600RR	BS



※タイヤはBS=ブリヂストンのワンメイク

J-GP2

レースウィークを通して好調だった関口太郎がポールポジションからスタートすると2番手以降を引き離し、一度もトップを明け渡すことなくトップでチェッカーを受け、ポールトゥウインを達成しました。10位に入った浦本修充が初のチャンピオンを獲得しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	関口 太郎	MISTRESA with HARC-PRO	HARC-PRO HP6	BS
2位	日浦 大治朗	MORIWAKI RACING	MORIWAKI MD 600	DL
3位	作本 輝介	Team 高武 RSC	MORIWAKI MD 600	BS



J-GP3

ランキングトップの徳留真紀と同2位の栗原佳祐、そして伊達悠太の3人がトップ集団を形成、最終ラップまで順位を入れ替えながらの争いとなりました。最終ラップに徳留がやや後退するも、日立オートモティブシステムズシケインで伊達が失速。2位に入った徳留が1ポイント差で2度目のチャンピオンに輝きました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	栗原 佳祐	MuSASHI RT ハルク・プロ	Honda NSF250R	BS
2位	徳留 真紀	CLUB PLUSONE	Honda NSF250	BS
3位	伊達 悠太	BATTLE FACTORY	Honda NSF250	DL



※BS…ブリヂストン DL…ダンロップ

サポートレースウィナー

■ JP250 インター ナショナル 田中 歩 久保直諒



■ CBR250R Dream Cup 成田彬人



※詳しいリザルト・レポートは下記をご参照ください。

鈴鹿サーキット公式サイト <http://www.suzukacircuit.jp/> MFJスーパーバイク公式ファンサイト <http://www.superbike.jp/>

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【プレスリリース】

プレスリリース 7月26日(火)

SUZUKA CIRCUIT | **MEDIA INFORMATION** | 2016年7月26日 株式会社モビリティランド 高級サーキット

MFJ GP SUZUKA | **2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿** | 11月5日(土)・6日(日)開催のご案内

株式会社モビリティランド、株式会社(正業)鈴鹿市にて2016年11月5日(土)・6日(日)に、「2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース」開催を告知いたします。

MFJ全日本ロードレース選手権シリーズは、日本国内のサーキットを舞台に、JGSM1000、J-GP2、ST1000、J-GP2C、今年新たに追加されたJGSM500の計5クラスで開催されます。高級サーキットで開催されるMFJのグランプリは、2016年第48回全日本ロードレース選手権シリーズの最終戦となり、JGSM1000クラスでは2016年最終戦となるツールドエールへの2連戦となります。

また、スーパーバイクレースは、11月5日(土)・6日(日)の両日開催し、決勝は毎日午後5時にスタート(スタート人数4000円・早急3,000円・抽選1,000円)で観戦できます。

開催概要

- 大会名称: 2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿
- 開催クラス: JGSM1000クラス/J-GP2C/ST1000/J-GP2/J-GP2C
- 開催日程: 2016年11月5日(土)・6日(日)開催
- 会場: 鈴鹿サーキット 国際レースコース(ツールドエール)
- 主催: 一般社団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)/株式会社モビリティランド
- 共催: 鈴鹿サーキット(主催)・鈴鹿市・鈴鹿市 鈴鹿サーキット(共催)
- 協賛: 鈴鹿サーキット(主催)・鈴鹿市・鈴鹿市 鈴鹿サーキット(共催)・日本グランプリ地域活性化協議会・一般社団法人 鈴鹿市観光協会・鈴鹿市工務局

株式会社モビリティランド
東京都港区南青山1-15-3 4F TEL:03(5770)4428 FAX:03(5770)4426 E-mail:media@mobilityland.jp
高級サーキット 〒116-0008 千葉県鈴鹿市南木下1166 TEL:059(378)4088 FAX:059(378)4088 URL: http://www.suzuka-race.jp/

開催概要

プレスリリース 10月11日(火)

SUZUKA CIRCUIT | **MEDIA INFORMATION** | 2016年10月11日 株式会社モビリティランド 高級サーキット

2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿 イベントインフォメーション

Hondaとヤマハが協力！ キッズ向けバイク体験イベント開催！

鈴鹿サーキット(正業)鈴鹿市は、11月5日(土)・6日(日)に開催される「2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿」にて、お子さまがエンジン付きバイクに挑戦できるイベント「憧れバイクに乗れる人だ！バイク体験イベント」を開催します。

イベントはHondaとヤマハの協力の元、両メーカーの50ccバイクを用い、選手もメーカーの2輪乗車クラスに所属するライダーがインストラクターとして参加し、お子さまの安全な体験をサポートいたします。

お子さまの安全な体験のための安全講習と、バイクの構造について「憧れバイクに乗れる人だ！バイク体験イベント」を開催いたします。

イベント名称: 憧れバイクに乗れる人だ！バイク体験イベント
開催日時: 11月5日(土) 9:00~17:00
11月6日(日) 9:00~17:00
会場: 先進材料 鈴鹿サーキット

開催場所: 鈴鹿サーキット
対象: 開催当日の住所に暮らす小学生
中学生以上の保護者も同行必須
参加費: 株式会社モビリティランド・ヤマハ・ホンダが協賛する株式会社

株式会社モビリティランド
東京都港区南青山1-15-3 4F TEL:03(5770)4428 FAX:03(5770)4426 E-mail:media@mobilityland.jp
高級サーキット 〒116-0008 千葉県鈴鹿市南木下1166 TEL:059(378)4088 FAX:059(378)4088 URL: http://www.suzuka-race.jp/

キッズ向けバイク体験イベント開催

プレスリリース 11月1日(火)

SUZUKA CIRCUIT | **MEDIA INFORMATION** | 2016年11月1日 株式会社モビリティランド 高級サーキット

MFJ GP SUZUKA | **2016 48th MFJ GRAND PRIX SUPERBIKE RACE in SUZUKA**

スズキの新型GSX-R1000R 国内初展示

鈴鹿サーキット(正業)鈴鹿市は、11月5日(土)・6日(日)に開催される「2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿」の、GPスウェッチアップで新型GSX-R1000Rを展示します。

この新型GSX-R1000Rは、世界最高峰の2輪ロードレース「MotoGP」で培われた技術が採用され、10月6日(木)・7日(金)にドイツで開催された「インターモト(EM)」にて発表されました。

2017年に40周年記念大会を迎える「鈴鹿50周年記念ロードレース」をはじめ、国内外のレースで活躍が期待されます。

なお今回展示するマシンは、インターモトで発表された車両と同じ仕様です。

正式発表後、国内初展示となるスズキの新型GSX-R1000R

2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿

開催日: 2016年11月5日(土)・6日(日)
観覧料: 大人3,000円、小学生1,000円、幼児(3歳~未就学児)2,000円
※ゆづらんちもちアピ(12歳以下)1日券付き(前売観覧券は11月5日(土)まで販売します)

(注1)インターモト・国際レースコース専用見学者・世界最大級のモーターサイクルショー
イベントの詳細はHondaモーターサイクルズにてご確認ください。 http://www.honda.co.jp/news/2016/10/30/04.html

株式会社モビリティランド
東京都港区南青山1-15-3 4F TEL:03(5770)4428 FAX:03(5770)4426 E-mail:media@mobilityland.jp
高級サーキット 〒116-0008 千葉県鈴鹿市南木下1166 TEL:059(378)4088 FAX:059(378)4088 URL: http://www.suzuka-race.jp/

スズキ新型GSX-R1000R 国内初展示

プレスリリース 11月3日(木・祝)

SUZUKA CIRCUIT | **MEDIA INFORMATION** | 2016年11月3日 株式会社モビリティランド 高級サーキット

MFJ GP SUZUKA | **2016 48th MFJ GRAND PRIX SUPERBIKE RACE in SUZUKA**

Hondaの新型CBR1000RR SP 全日本ロードレース選手権 初展示

鈴鹿サーキット(正業)鈴鹿市は、11月5日(土)・6日(日)に開催される「2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿」の、GPスウェッチアップで「新型CBR1000RR SP」を展示します。

10月6日(木)・7日(金)にドイツで発表された「インターモト(EM)」にて発表された新型CBR1000RR SPは、RC213V-8の設計思想と、最新の電子制御技術を採用したスーパーバイクです。

2017年に40周年記念大会を迎える「鈴鹿50周年記念ロードレース」をはじめ、国内外のレースで活躍が期待されます。

Hondaの新型CBR1000RR SP

2016 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 第48回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿

開催日: 2016年11月5日(土)・6日(日)
観覧料: 大人3,000円、小学生1,000円、幼児(3歳~未就学児)2,000円
※ゆづらんちもちアピ(12歳以下)1日券付き(前売観覧券は11月5日(土)まで販売します)

(注1)インターモト・国際レースコース専用見学者・世界最大級のモーターサイクルショー
イベントの詳細はHondaモーターサイクルズにてご確認ください。 http://www.honda.co.jp/news/2016/10/30/04.html

株式会社モビリティランド
東京都港区南青山1-15-3 4F TEL:03(5770)4428 FAX:03(5770)4426 E-mail:media@mobilityland.jp
高級サーキット 〒116-0008 千葉県鈴鹿市南木下1166 TEL:059(378)4088 FAX:059(378)4088 URL: http://www.suzuka-race.jp/

Honda 新型CBR1000RR SP 全日本ロードレース選手権 初展示

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

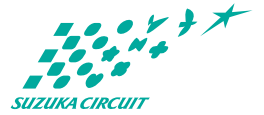
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーションシーン1



激戦を繰り広げた全日本ロードレース選手権シリーズもいよいよ最終戦。グランドスタンド手前のGPスクエアでは、パートナー各社様の華やかなプロモーションが展開されました。



Hondaブースで行われた抽選会に出演した秋吉耕佑、高橋 巧、高橋裕紀の各選手(左から)。



YAMAHAブースで行われたじゃんけん大会、掛け声はおなじみの「最初はY!」。



SUZUKIブースに展示された新型GSX-R1000R。ドイツで開催されたオートバイの国際見本市「インターモト」で発表されたマシンと同仕様です。



Kawasakiブースでは、29歳以下のライダーを対象としたイベント「カワサキU29ミーティング」が渡辺一樹選手をゲストに迎えて開催されました。



武石伸也選手がBMWブースをサプライズ訪問、ファンとふれあいました。



オリジナルアイテムをはじめとして、さまざまなライディングギアがバーゲンプライスで展示・販売された南海部品ブース。



クラシカルなロシア製サイドカー「ウラル」が展示されたウラル・ジャパンブース。



マフラーをはじめとするオリジナルカスタムパーツ装着マシンが展示されたノジマエンジニアリングブース。



ハンドル周りをはじめとするカスタムパーツ装着マシンや製品が展示されたハリケーンブース。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

GPスクエアでは「"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐 プレイバックトーク! スペシャルトーク」と題して豪華ゲストを招いてのトークショーの数々が開催されました。



2016年の鈴鹿8耐TOP3が登場したプレイバックトーク。右から中須賀克行、津田拓也、レオン・ハスラムの各選手。



来たる2017年の40回記念大会に向けての展望を、今年のTOP3監督に語っていただきました。右から吉川和多留(YAMAHA)、加藤陽平(ヨシムラ)、釈迦堂利郎(Kawasaki)の各監督。



世界耐久選手権フル出場の意義について語っていただきました。右から藤井正和総監督(F.C.C. TSR Honda)、渡辺一馬選手、北川圭一氏、藤原克昭氏。



「世界を知るチームならではの耐久レース」と題されたトークショー。右から加賀山就臣選手、加藤陽平監督、鶴田竜二監督(TRICK★STAR)、藤井正和総監督、北川圭一氏、藤原克昭氏。



今年、8耐、Moto2™、全日本選手権などで活躍したTEAM KAGAYAMAのシーズンエンドトーク。右から加賀山就臣選手、清成龍一選手、浦本修充選手、そしてゲストの藤原克昭氏。



次世代を担う若いライダーたちのフレッシュなトークショー。右から岡崎静夏選手、中村大輝選手、栗原佳祐選手。

PICK UP 1

GPスクエア特設コースで、小学生のお子さまを対象にホンモノのエンジン付きバイクライディングを体験いただいた「僕らもバイクに乗れるんだ! バイクチャレンジ」。

協力: 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン/ヤマハ発動機販売株式会社



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



マイバイクで国際レーシングコースを体験走行いただいた「サーキットクルージング」。今回はメインストレートでの記念撮影タイムもお楽しみいただきました。



コチラレーシングファンクラブ会員の中から抽選で選ばれた方に、JSB1000クラスのスターティンググリッドでライダーとマシンを迎えていただいた「グリッドボード体験」。



コチラレーシングファンクラブ会員の中から抽選で選ばれた方に、JSB1000クラススタートまでのカウントダウンボードを掲げていただいた「カウントダウンボード体験」。



コチラレーシングファンクラブ会員の中から抽選で選ばれた方にJSB1000クラスのスタートの瞬間を“激近”な場所から体感いただいた「激近! スタート体験」。

PICK UP 2

2017年鈴鹿8耐での復活へ向けて始動した名門「モリワキ」の8耐マシンやモリワキデザインのトラックに体験搭乗いただけるイベントを実施いたしました。



PICK UP 3

鈴鹿市主催により、市民の皆さんにより深くモータースポーツを理解していただくよう開講されている「モータースポーツおもしろ体験・講座」。その一環として特別観戦ツアーが実施され、宮崎祥司氏の解説での観戦や、地元チーム モリワキのピット訪問が行われました。



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【PRブース等ご出展】



ウラル・ジャパン株式会社【PR】
 大阪単車用品工業株式会社【PR】
 株式会社カワサキモーターズジャパン【PR】
 株式会社スズキ二輪【PR・販売】
 南海部品株式会社【販売】
 株式会社野島エンジニアリング【PR】
 ビー・エム・ダブリュー株式会社【PR】
 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン【PR・販売】
 三重県【PR】
 ヤマハ発動機販売株式会社【PR・販売】

【サーキットビジョンご協賛各社】



株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

【応援席ご利用】

株式会社カワサキモーターズジャパン
 株式会社スズキ二輪
 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
 ヤマハ発動機販売株式会社

【公式プログラムご協賛各社】



A4 カラー 52p 9,000部発行

株式会社アライヘルメット	昭和電機株式会社	一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)	Honda Racing THANKS DAY 2016
株式会社カワサキモーターズジャパン	株式会社スズキ二輪	株式会社ブリヂストン	ヤマハ発動機販売株式会社
株式会社三栄書房	住友ゴム工業株式会社	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン	

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

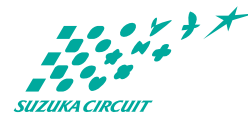
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2016年9月1日現在